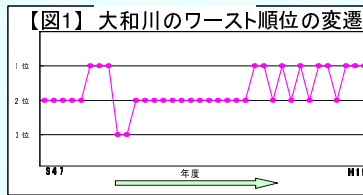


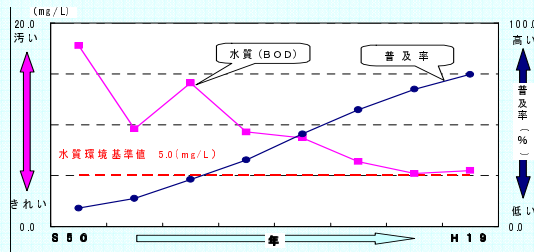
1. 現状

①大和川水系河川は、本川においてはH19年BOD75%値が5.5mgとなるなど徐々に改善傾向にあるものの、昭和47年以来現在まで**全国1級河川中ワースト3位までにランクされ続け、近年3ヶ年は連続ワースト1**である。



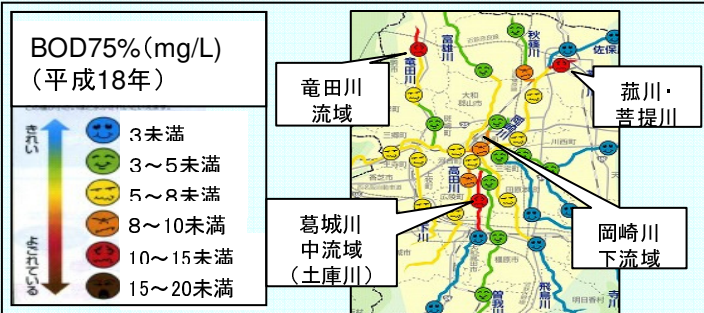
②下水道の普及とともに年々水質は改善傾向にある。

【図2】下水道の普及と大和川の水質の推移



③支川の中には水質の改善が進まないところが見受けられる。

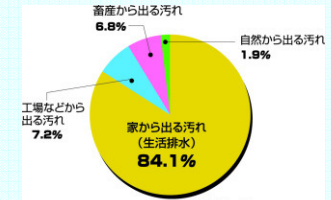
【図3】大和川支川の水質



2. 課題

①大和川水系の汚濁の原因

- ・山地が少なく降水量も少ないので、平常流量が少ない
- ・汚れの原因の80%以上を家庭からの生活排水が占める
- ・単独浄化槽による汚濁（下水道への接続、合併浄化槽への転換が必要）



【図4】大和川の汚濁原因内訳

住民への生活排水対策啓発活動が必要

②特に改善が進まない支川における原因

- ・下水道の普及率・接続率が低迷しているため、生活排水や畜産排水、事業所排水が河川に流入する
- ・合流式下水道が整備されている地域では、大雨時に汚水が河川に流入

水質改善の進んでいない流域での集中的な対策が必要

3. 改善に向けた取り組み

「よみがえれ！大和川清流復活大作戦」

①大和川清流復活ネットワークの設立
(平成20年11月18日)

- 県
景観・環境局、農林部、商工労働部、土木部
- 国土交通省
- 市町村
- 民間（住民団体、NPO、企業等）

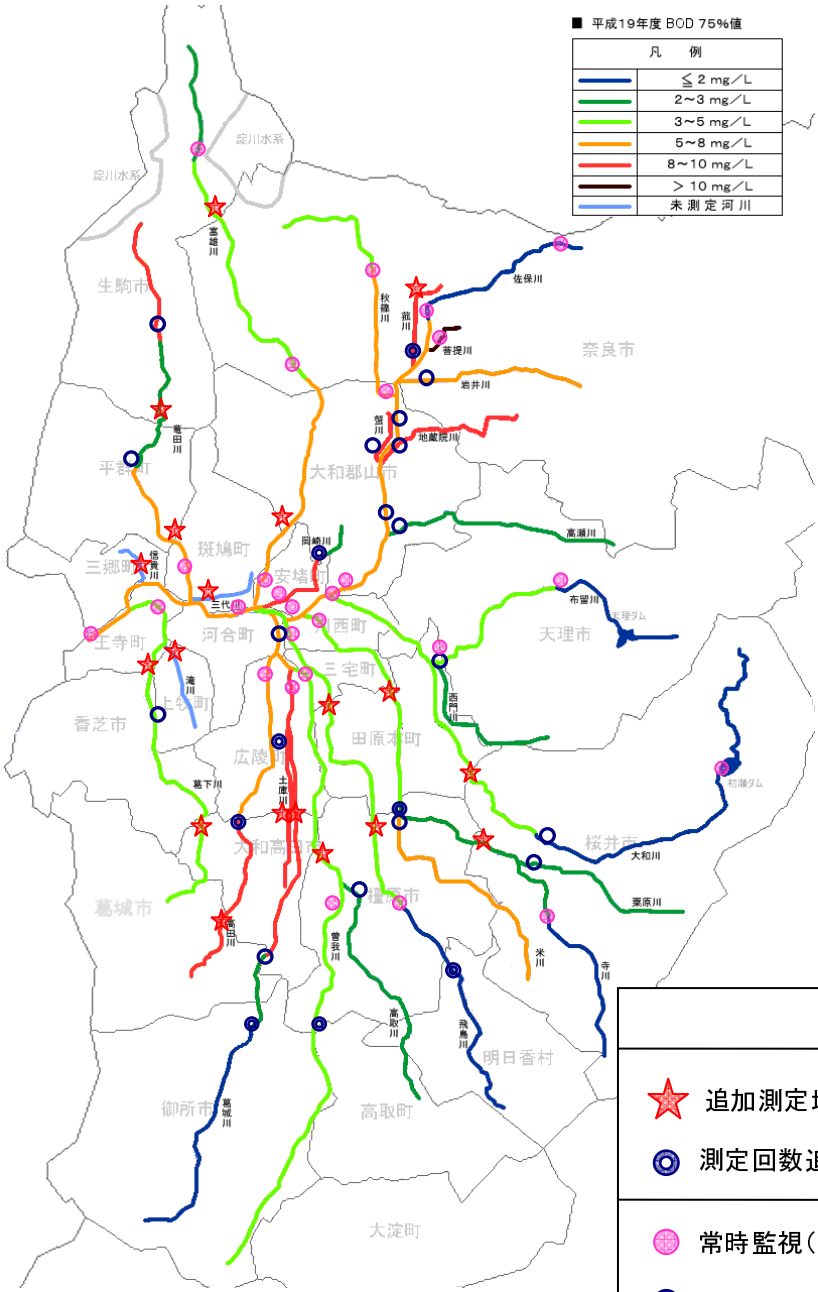
- ②支川毎の水質の現状調査と水質汚濁負荷の徹底した分析
 - ・支川毎・市町村毎の水質測定箇所の追加と、汚水処理の現況調査
 - ・支川毎・市町村毎の水質改善に向けた手法や目標の設定
- ③県民への情報発信
 - ・支川毎・市町村毎の水質の公表
 - ・水質マップや展示用パネルの作成
 - ・下水道の役割のPRパンフレット作成
 - ・夏休み親子の下水道教室の開催
- ④支川毎の水質に応じた取り組みの実施
 - ・水質改善啓発の地域活動団体・NPOとの協働
 - ・下水道への接続促進や合併浄化槽への転換促進
 - ・重点対策河川での水質改善の社会実験
- ⑤改善対策の成果の評価分析

ワースト1を脱却し、
国際文化観光都市に
ふさわしい清流の
復活を目指す

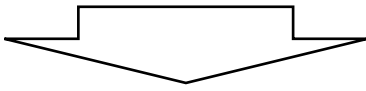
ワースト1からの
脱却に向けて

支川毎、市町村毎の
きめ細かな計画の策定

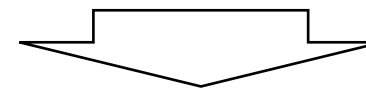
水質調査測定箇所測定回数の追加



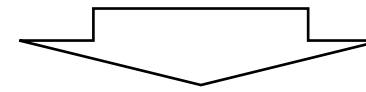
- ・支川毎の市町村境界で測定を実施
- ・汚濁負荷の現状把握
(支川毎、市町村毎污水处理の現状)



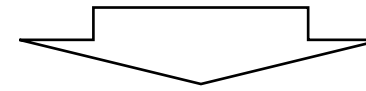
- ・重点対策河川の選定
(官民協働の啓発事業の企画・検討)



- ・シミュレーションモデルにより
目標設定や対策を検討



- ・支川毎、市町村毎の目標設定



- ・重点対策河川での集中的な
取り組みの実施
(官民協働の啓発事業の実施)
- ・県民への情報発信

凡 例	
★	追加測定地点(19地点)(年12回 測定)
⊙	測定回数追加(8地点)(常時監視年4回に8回追加)
●	常時監視(26地点) (年12回測定地点)
○	常時監視(15地点) (年 4回測定地点)

国・県・市町村の取り組み事例

出典：Cプロジェクト計画2006（水環境編）平成18年度取り組み成果報告書（平成19年11月）

大和川河川事務所ホームページより抜粋

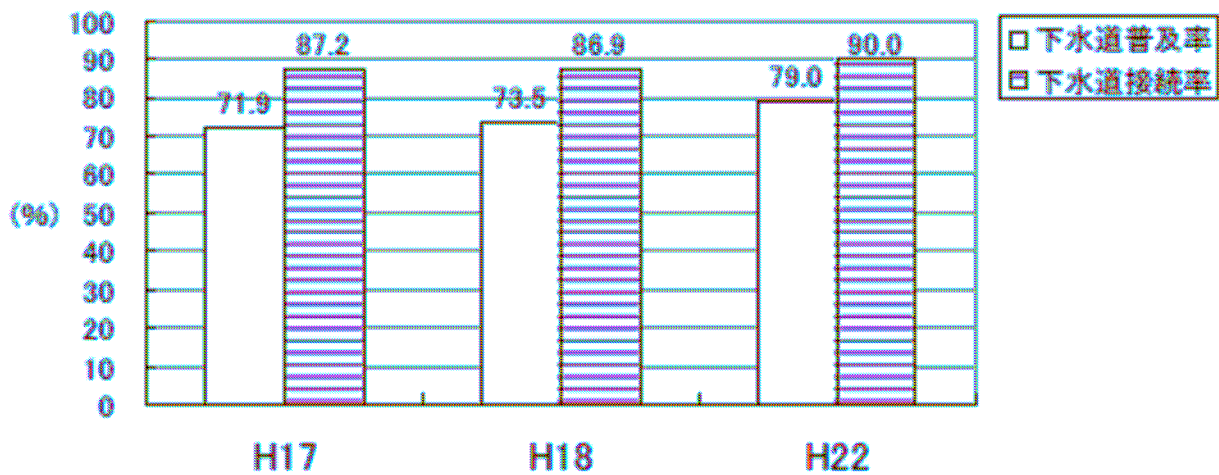
<http://www.yamato.kkr.mlit.go.jp/YKNET/cproject/index.html>

【奈良県の取り組み】

Cプロジェクト施策	施策内容	取り組み
生活排水対策のさらなる推進 (水を使うライフスタイルの改善)	アクリルタワシ作製講座	5回実施(12月～2月)
	生活排水対策パネル展	5回実施(2月～3月)
	広報誌、PRパンフレットによる情報発信	◇広報紙による広報(県及び市町村) ◇奈良県環境政策課ホームページ(エコなら)での広報 ◇生活排水対策パンフレットの作成 ◇水質改善強化月間(2月)の記者発表
	パンフレット「万葉の清流ルネッサンスⅡ」の配布	イベント等で随時配布
水環境改善意識の普及啓発の推進	県政出前トークの開催(水質汚濁と生活排水)	2回実施
	環境学習サポート(リバーウォッチング)	13校で実施
環境学習等の推進	環境学習サポート(出前講座)	19校で実施(河川課17校、環境政策課2校)
	ぼくらのかっぱ教室	1回実施(8月)
	かっぱ通信の作成・配布	3回実施(流域内全167小学校)
	地域が育む川づくり事業(草刈りへの報奨金支給)	6団体
流域住民相互の連携や流域住民と行政とのパートナーシップの推進	奈良県環境県民フォーラムとの協働	◇アクリルタワシの啓発活動の実施 ◇環境教育「川の教室」の開催(平成18年7月17日) ◇「アース・デー2006inなら大和川クリーン作戦」の啓発協力 ◇WAQU2調査隊事業への参加(佐保川流域等で年4回水質調査の実施) ◇流域上流下流交流会の開催(平成18年6月13日) ◇環境フェアにおける生活排水対策普及啓発の実施(平成18年7月29日)
	リフレッシュ大和川行動事業	◇大和川アクアクリーン事業(竜田川、飛鳥川、葛下川流域市町村の団体が行う生活排水対策事業<廃油リサイクル、水質マップ作成、普及啓発等>)の促進 ◇水質改善強化月間普及啓発事業
河川愛護活動の推進	河川美化愛護団体支援事業(草刈り、清掃、植栽に対する物品または保険の支給)	117団体
工場・事業場の排水規制・指導	法・条例等に基づく規制事業場の立入	207箇所の立入検査等を実施
	規制基準の強化	水生生物に係る環境基準の指定に伴い、奈良県生活環境保全条例に規定する亜鉛の排水基準を強化改正
	第6次水質総量規制	◇化学的酸素要求量・窒素含有量・りん含有量に係る総量削減計画の策定 ◇第6次化学的酸素要求量・窒素含有量・りん含有量に係る総量規制基準の策定
	異常水質対策	◇異常水質対応措置要領の改正 ◇油回収用オイルマットの追加配備 ◇魚へい死時の調査用DO測定キットの配備(5保健所)
公共用水域の水質常時監視	水質測定計画の策定	水質汚濁防止法の規定に基づき水質測定計画を策定し、計画的に河川水質等の常時監視調査を実施

	Cプロ計画施策	施策内容	取り組み
下水道事業	下水道普及率の向上	流域下水道幹線(竜田川幹線、信貴山幹線)の推進 市町村の公共下水道の整備促進	◇竜田川幹線完成 ◇下水道普及率73.5% (平成18年度末現在) (Cプロ目標値79%)
	下水道接続率の向上	接続促進のためのPR 普及相談員による接続の啓発 未接続の要因分析 水洗便所改造資金貸し付けの推進	下水道接続率86.9% (平成18年度末現在) (Cプロ目標値90%)
	合流式下水道の改善	合流式下水道(奈良市域)の雨天時における未処理下水の 河川への流出改善	—
	高度処理の推進	大和川上流流域下水道では、増設する下水処理施設は全て 高度処理施設	高度処理施設増設工事中 (高度処理人口普及率24%)
その他事業	合併処理浄化槽の設置・ 整備の促進	奈良県浄化槽整備事業の推進	290基整備
	浄化槽の清掃・保守点検 等の適正管理の推進	県保健所による浄化槽の適正管理指導	152件指導
河川事業	流入支川の 汚濁負荷削減	直接浄化施設の整備	土庫川・百済地内(広陵町) 工事中(H19度完成予定)

グラフー下水道の進捗状況



【大和川水環境協議会の取り組み】

施策内容		取り組み
生活排水対策	生活排水対策 社会実験	<ul style="list-style-type: none"> ・1回目 H18年7月28日～30日（全域のみで実施） 広報物配布：教育関係1341件、自治体関係38件、民間514件 ・2回目 H19年2月17日～23日（全域・モデル地区にて実施） 広報物配布：自治体関係38件、民間582件、文化施設164件
環境学習等	大和川博士講座	<p>大和川博士講座：年間14回実施（H18年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月23日 アースデー2006inなら （主催：ならコープ、場所：奈良県第一浄化センター自由広場） ・6月4日 2006環境フェスティバル（柏原市 市民生活部 環境保全課） ・6月4日 環境フェスティバル（生駒市 生活環境部 環境管理課） ・6月11日 山辺広域環境フェア（天理市 環境政策課） ・7月29日 環境フェア（奈良県 環境政策課） ・8月20日 ぼくらのカップ教室（奈良県 土木部 河川課） ・9月8日 やまとがわ博士のお話会（場所：矢田西小学校） ・9月9日 下水道の日イベント（王寺町 水道部 下水道課） ・9月14日 長吉川辺神社まつり（長吉川辺自治会） ・9月24日 広陵かぐや姫まつり（広陵町 生活環境課） ・10月1日 葛城エコ・フリーマーケット （葛城エコ・フリーマーケット実行委員会） ・10月1日 内川・土居川まつり（堺市 河川水路課） ・11月5日 香芝ふれあいフェスタ（香芝市 生活環境課） ・12月4日 大和郡山アクリタワシ講座（奈良県 土木部 河川課）
	巡回パネル展	<p>巡回パネル展：年間13回実施（H18年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月16日 アースデイSakurai2006（桜井青年会議所） ・4月28日～5月7日 堺市浅香山浄水場（ツツジの通り抜け） ・4月29日～6月11日 大阪市立自然史博物館 （知られざる大和川の再生物話） ・6月7日～11日 天理市文化センター（天理市） ・6月23日～7月14日 三の丸会館ロビー（大和郡山市） ・9月1日～28日 いかるがホール（斑鳩町：環境月間パネル展） ・10月14日 さやかホール（大阪府：南河内 水辺のつどい） ・10月26日～11月6日 三郷文化センター（三郷町） ・2月1日～2月16日 奈良市役所ロビー（奈良市：環境フェス） ・2月6日～2月12日 かしはら万葉ホール（橿原市：環境フェス） ・2月3日 樟蔭学園会館（大阪府：恩知川フェスティバル） ・2月17日 ドーンセンター（大阪府：水辺のつどい） ・3月15日～17日 大阪産業大学 （日本水環境学会関西支部主催：「関西の水環境を楽しもう！」）

【国土交通省の取り組み】

生活排水対策	生活排水排水対策教育ビデオ作成 「泳げる大和川は、わが家の台所から」	・7月作成 ・流域の小学校257箇所と教育委員会35箇所に配布
環境学習支援	総合学習のための出前講座	・若手職員がCDST (Class Delivery Service Team) を結成 ・小学校の総合学習14回実施 ・大和川の歴史、治水、環境、地すべり等
大和川クリーン キャンペーン	大和川【絵・ポスター・作文・写真】 コンクール	・作品募集H18年7月1日～10月31日（応募総数5772点） ・本審査会H18年12月17日（入賞作品64点、学校賞2校決定） ・表彰式H19年2月17日（参加者数49組116名）
	やまとがわ源流体験	・H18年8月19日に実施 ・河内長野市石川上流、参加者数36組133名
	やまとがわ水生生物調査	・合計4回実施 （9/14 浅香 参加者：堺市立錦小学校4年生49名） （9/20 河内橋 参加者：柏原市立柏原小学校5年生101名 市民団体「アクアフレンズ」5名） （9/22 藤井 参加者：事務所職員） （10/3 御幸大橋 参加者：事務所職員）
環境学習支援	大和川 水辺まつり	・平成18年7月29日（土）実施 ・堺市香ヶ丘周辺の大和川堤防及び河川敷にて開催 ・参加者：約8000名 ・地元堺市の水辺の楽校開校に向けた取り組みに協力
ごみ対策	兵庫県洲本市成ヶ島の清掃活動	・大和川・石川クリーン作戦と同じ日に実施 ・大和郡山市も参加 ・約50袋のごみを回収

【企業の取り組み一例】

生活排水対策社会実験では、奈良新聞社、ラジオ大阪、いずみコープ、ならコープ、サンケイリビング新聞社、大和信用金庫の協力を受けて実施している。

また、大和信用金庫は「大和川定期預金」、「大和川基金」を創出し、大和川再生事業への支援を行っている。

【大和川定期預金&大和川基金とは】大和信用金庫

大和信用金庫が取り扱っている「大和川定期預金」は、大和川の水質改善度合いに応じて、定期預金の金利を最高1%まで上乘せする運用が行われている。

さらに、預入総額の0.01%相当分の金庫出資と大和信用金庫の役職員の皆様の出資を合算して「大和川基金」が創出されている。

「大和川基金」は、特定非営利活動法人奈良 NPO センターとの協働により、大和川再生事業への拠出を行っている。

【流域市町村の取り組み】①生活排水対策に関する取り組み

支川地域	市町村名	生活排水対策に関する取り組み
竜田川・岡崎川地域	生駒市	広報誌等による生活排水対策の啓発を2回
		生活排水対策の啓発品の配布を16箇所計17回実施した
		6月4日にエコパーク21で開催された環境フェスティバルでの生活排水対策コーナー(大和川博士及びパネル展示)や店舗における生活排水対策パネル展、啓発コーナーの設置を6箇所計6回実施した
		食用油回収、リサイクル活動を16拠点で常時実施しており、3493kgを回収した
佐保川・富雄川地域	奈良市	広報誌等による生活排水対策の啓発を3回
		生活排水対策の啓発品の配布を1回実施した
		生活排水対策パネル展、啓発コーナー設置を1回実施した
	大和郡山市	広報誌による浄化槽の適正管理の啓発を1回
		浄化槽の立入検査・指導を6箇所実施した
		広報誌等による生活排水対策の啓発を1回
初瀬川・布留川地域	天理市	9月8日の「下水道デー」に市内主要駅前(6箇所)で啓発物(ポケットティッシュ、救急ばん創膏)を配布した
		生活排水対策パネル展、啓発コーナー設置を1回実施した
寺川地域	桜井市	食用油回収、リサイクル活動を12回実施し、60人が参加
		広報誌・駅前街頭等で生活排水対策の啓発を2月に実施した。
		1,500戸を対象に3ヶ月間、戸別訪問による下水道接続啓発を実施した
		広報誌等による生活排水対策の啓発を2回
		街頭等における啓発チラシの配布を1回実施した
		生活排水対策の啓発品の配布を1回実施した
	田原本町	生活排水対策パネル展、啓発コーナー設置を1回実施した
		広報誌による下水道接続の啓発を1回
		戸別訪問による接続啓発を3箇所計3回実施した
		広報誌による浄化槽の適正管理の啓発を12回
		広報誌等による生活排水対策の啓発を3回
		街頭等における啓発チラシの配布を2箇所計2回実施した
川西町	広報車による生活排水対策の啓発を1回実施した	
	生活排水対策の啓発品の配布を3箇所計3回実施した	
	生活排水対策パネル展、啓発コーナー設置を1回実施した	
	食用油回収、リサイクル活動を9拠点で12回実施し、2265kg回収した	
	4月8日に田原本町役場で行われた「桜祭り」参加者に啓発活動を実施	
	「飛鳥川流域啓発事業」を11月8日に飛鳥川沿線を実施した	
飛鳥川地域	橿原市	「水質改善啓発事業」を2月7日に食料品店前で実施した
		広報誌等による生活排水対策の啓発を2回
		街頭等における啓発チラシの配布を1回実施した
		広報車による生活排水対策の啓発を1回実施した
		生活排水対策の啓発品の配布を1回実施した
		食用油回収、リサイクル活動を4拠点で48回実施し、660kg回収した
	三宅町	広報誌による下水道接続の啓発を1回
		戸別訪問による接続啓発を1箇所実施した
		6月の環境月間に広報で水に関する特集号に記載したり、2月の水質改善強化月間にあわせて広報に織り込みチラシを入れた
		街頭等における啓発チラシの配布を3箇所計4回実施した
三宅町	三宅町	「流域合同河川パトロール」11月8日実施 飛鳥川流域をパトロールし、スピーカによる生活排水対策を流域住民に呼びかけた
		生活排水対策の啓発出前トークなどを10箇所実施し、740人が参加した
		10月29日の「下水道フェア」(かしはら万葉ホール)、11月8日の「流域合同街頭キャンペーン」(近鉄大和八木駅前)、2月1日の「大和川水質改善強化月間キャンペーン」(近鉄大和八木駅前)などで生活排水対策の啓発品の配布を2箇所、計3回実施した
		「かしはら商工まつり(9月16日、17日)」において、飛鳥川に生息する生き物の水槽展示や生活排水対策クイズを実施し、約2,000人の来場があった。
		「環境啓発パネル展」を2月3、4日にダイヤモンドシティ・アルル、2月6～12日にかしはら万葉ホールで実施した
		食用油回収、リサイクル活動を12拠点市役所及び(市内11地区公民館)で67回実施し2134人が参加し、8186kg回収した
三宅町	三宅町	広報誌等による生活排水対策の啓発を1回
		生活排水対策の啓発品の配布を1回で実施した
三宅町	三宅町	食用油回収、リサイクル活動を1拠点で随時実施しており840kg回収した

支川地域	市町村名	生活排水対策に関する取り組み
曾我川地域	御所市	街頭等における啓発チラシの配布を1回実施した
		生活排水対策の啓発品の配布を1回で実施した
		生活排水対策パネル展、啓発コーナー設置を1回実施した
		広報誌による下水道接続の啓発を2回
	大和高田市	広報誌による浄化槽の適正管理の啓発を1回
		広報誌等による生活排水対策の啓発を1回
		生活排水対策の啓発品の配布を1回実施した
		食用油回収、リサイクル活動を14拠点で230回実施し578人が参加、5597ℓ回収した
		広報誌による下水道接続の啓発を1回
		広報誌による浄化槽の適正管理の啓発を1回
	広陵町	広報誌等による生活排水対策の啓発を3回
		街頭等における啓発チラシの配布を2箇所計2回実施した
生活排水対策の啓発品の配布を2箇所計2回実施した		
生活排水対策パネル展、啓発コーナー設置を1回実施した		
広報誌による下水道接続の啓発を1回		
戸別訪問による接続啓発を1箇所実施した		
葛下川地域	葛城市	広報誌による浄化槽の適正管理の啓発を1回
		生活排水対策の啓発品の配布を1回実施した
		広報誌による下水道接続の啓発を1回
		戸別訪問による接続啓発を300箇所実施した
	香芝市	広報誌等による生活排水対策の啓発を2回
		「大和川アクアクリン事業、葛下川流域生活排水対策啓発活動」を2月16日に香芝市内オークワの3店舗(香芝逢坂店、香芝南店、香芝尼寺店)で実施し、生活排水対策の啓発品の配布を行った。(水切り袋、エコスクレイパー計600個)
	上牧町	広報誌による下水道接続の啓発を2回
	王寺町	広報誌等による生活排水対策の啓発を1回
		街頭等における啓発チラシの配布を1回実施した
		生活排水対策の啓発出前トークなどを1回実施した
		生活排水対策の啓発品の配布を3箇所計3回実施した
		毎年9月23日のベルフェスタ2006(王子アリーナ)でエココーナを設置するなど、生活排水対策パネル展、啓発コーナーの設置を2箇所計2回実施した
食廃油による石けんづくり4月～11月、3月の第3木曜日に計9回実施し総数99人が参加した		
アクリルタワシ作成講座を2箇所計2回実施し3人が参加		
広報誌による下水道接続の啓発を1回		
広報誌による浄化槽の適正管理の啓発を2回		
その他支川地域	三郷町	広報誌等による生活排水対策の啓発を2回
		街頭等における啓発チラシの配布を3箇所計3回実施した
		生活排水対策の啓発品の配布を3箇所計3回実施した
		生活排水対策パネル展、啓発コーナー設置を1回実施した
	斑鳩町	広報誌による下水道接続の啓発を1回
		広報誌等(4月号、2月号)による生活排水対策の啓発を2回
		2月の水質改善強化月間に合わせて、街頭等における啓発チラシの配布を2月14日に町内2箇所(ジャスコ、万代)で実施し、啓発物品(エコスクレイパー)200個配布、生活排水対策実験チラシを200枚配った
		生活排水対策の啓発品の配布を常時実施している
		生活排水対策パネル展、啓発コーナー設置を1回実施した
		食用油回収、リサイクル活動「竜田川流域生活排水対策推進会議」を町内8カ所(役場・中央・東・西公民館、中央体育館、いかるがホール、ふれあい交流センターいきいきの里、衛生処理場)で常時実施しており、3250ℓを回収した
		身近な環境問題を解決しながら、町と地域を結ぶリーダーを養成することを目的に、自治会に1名ずつ環境保全推進委員を設置した。第5期斑鳩町環境保全推進委員に114名
		広報(9月号)、9月1日～25日にパネル展示、チラシの配布による下水道接続の啓発を5回行った
広報誌(7月号、2月号)による浄化槽の適正管理の啓発を2回		
河合町	戸別訪問による接続啓発を336箇所実施した	

【流域市町村の取り組み】②環境学習に関する取り組み

支川地域	市町村名	環境学習に関する取り組み
竜田川・岡崎川地域	生駒市	小中学生による広報、作文、絵画等の公募を1回実施 1561人が参加した
		環境学習出前講座を11校で計12回実施（6月に7回、7月、9月に1回づつ、10月に2回、1月に1回）
		環境学習教材を2種類製作
佐保川・富雄川地域	奈良市	広報誌等による環境学習情報の提供を2回
		自然観察会、源流探検などを2箇所計2回実施 194人が参加した
	大和郡山市	広報誌等による環境学習情報の提供を3回
		自然観察会、源流探検などを8箇所計8回実施 849人が参加した
		身近な水環境の調査9回実施、13箇所計564人が参加した
		各種体験学習(処理場、企業など)を26箇所計26回実施
		小中学生による広報、作文、絵画等の公募を14回実施 1952人が参加した
環境学習出前講座を6箇所計8回実施した		
環境学習施設の整備(水辺整備も含む) 1箇所		
初瀬川・布留川地域	天理市	リバーウォッチングを7月15日に布目川(福住町)で実施し、48人が参加した
		小中学生による広報、作文、絵画等の公募を1回実施 10人が参加した
		山辺広域環境フェアを(大和川クリーンキャンペーンの紙芝居) 6月11日に天理市役所、他で開催し400人が参加した 1市3町1村
寺川地域	桜井市	広報誌等による環境学習情報の提供を3回
		自然観察会、源流探検などを9箇所計38回実施 1158人が参加した
		身近な水環境の調査を10箇所計14回実施 567人が参加した
		各種体験学習(処理場、企業など)を1箇所計227回実施
		小中学生による広報、作文、絵画等の公募を1回実施 1243人が参加した
		環境学習教材を18種類製作
	川西町	環境学習コーナーを1箇所設置した
		環境学習施設の整備(水辺整備も含む) 1箇所
		広報誌等による環境学習情報の提供を1回
		自然観察会、源流探検などを1箇所計1回実施 15人が参加した
飛鳥川地域	橿原市	身近な水環境の調査1箇所計5回実施した
		各種体験学習(処理場、企業など)2箇所計2回実施した
		小中学生による広報、作文、絵画等の公募3回実施 30人が参加した
		環境学習教材を2種類製作
		環境学習コーナーを1箇所設置した
		各種体験学習(処理場、企業など)を83箇所計179回実施した
曾我川地域	御所市	小中学生による広報、作文、絵画等の公募を1回実施 788人が参加した
		環境学習出前講座を5月～7月に市内の小学校10校で実施した
		環境学習教材を1種類製作
	大和高田市	環境学習コーナーを1箇所設置した
		広報誌等による環境学習情報の提供を1回
葛下川地域	香芝市	リバーウォッチングを7月26日に大中公園北側及び太田川で開催し、30人が参加した
		11月5日の「香芝ふれあいフェスタ」で大和川博士による公演などを実施した 延べ3万名が参加した
	王寺町	自然観察会を7月17日(海の日)青蓮寺川で開催、48人が参加した
その他支川地域	斑鳩町	小中学生による広報、作文、絵画等の公募1回実施 203人が参加した
		竜田川に関する冊子の作成、配布(竜田川流域生活排水対策推進会議) 環境学習教材を1種類製作

【流域市町村の取り組み】③ごみ対策・清掃活動に関する取り組み

支川地域	市町村名	ごみ対策・清掃活動に関する取り組み
竜田川・岡崎川地域	生駒市	広報誌等による啓発、関連情報の提供を15回
		富雄川クリーンキャンペーンで6月25日、27と7月4日の3回、富雄川河川管理道(上村大橋～高樋橋)両岸で散在ゴミの回収などの清掃・美化活動を実施、700人が参加した
		環境パトロール活動を60箇所計60回実施した
		ポイ捨て、不法投棄禁止看板等を24箇所に計24枚設置した
		河川愛護啓発絵画等展示会を中央公民館で12月6～17に開催するなど、河川愛護啓発に係るパネル展を3箇所計3回実施した
	リサイクル活動の支援を117箇所計234回実施した	
平群町	5月28日、9月3日のふるさとヘグリククリーンアップ作戦で散在ゴミの回収などの清掃・美化活動を実施し、2回で550人が参加し計610トンを回収した	
佐保川・富雄川地域	大和郡山市	広報誌等による啓発、関連情報の提供を1回
		散在ゴミの回収などの清掃・美化活動を5箇所計5回実施し、100人が参加した
		ポイ捨て、不法投棄禁止看板等を9箇所に設置した
		河川愛護啓発に係るパネル展等を1回実施した
		美しいまちづくり条例(ポイ捨て禁止)啓発展示を7箇所計7回実施した
		美しいまちづくり条例(ポイ捨て禁止)啓発ポスター依頼を40箇所計40回実施した
美しいまちづくり条例(ポイ捨て禁止)啓発物品取付を6箇所計6回実施した		
初瀬川・布留川地域	天理市	天理環境フォーラムで布留川流域の清掃を6月18日に行い、市、団体(関係)、市民の102人の参加があった。
		環境パトロール活動を10箇所計12回実施した
		ポイ捨て、不法投棄禁止看板等を20箇所に計20枚設置した
寺川地域	桜井市	河川愛護啓発に係るパネル展等を1回実施した
		広報誌等による啓発、関連情報の提供を4回
		7月2日の「大和川清流復活作戦」の支援で大和川支流栗原川(大字川合～桜井間の約1Km)の清掃をするなど散在ゴミの回収などの清掃・美化活動を3箇所計3回実施し、5.7トンを回収した
		河川や水路の堆積土砂の浚渫活動を市内各所で5回実施し472人が参加、577トンを回収した
		環境パトロール活動を随時実施している
		ポイ捨て、不法投棄禁止看板等を7箇所に計17枚設置した
	田原本町	河川愛護啓発に係るパネル展等を1回実施した
		広報誌等による啓発、関連情報の提供を5回
		寺川(大和川支流)での河川清掃作業を9月から11月に行った他、散在ゴミの回収などの清掃・美化活動を58箇所計58回実施し、4トンを回収した
		環境パトロール活動を12回実施した
		ポイ捨て、不法投棄禁止看板等を16箇所に計45枚設置した
川西町	広報誌等による啓発、関連情報の提供を9回	
	散在ゴミの回収などの清掃・美化活動を3回、5箇所計5回実施し、264人が参加し5トンを回収した	
飛鳥川地域	リサイクル活動の支援を18箇所計97回実施した	
	リサイクル活動の支援を18箇所計97回実施した	
飛鳥川地域	樺原市	25の自治会が近隣河川敷で雑草の草刈やごみを除去するなど清掃・美化活動を随時行っている
	三宅町	散在ゴミの回収などの清掃・美化活動を1回実施し100人が参加して3トンを回収
曾我川地域	御所市	広報誌等による啓発、関連情報の提供を2回
		散在ゴミの回収などの清掃・美化活動を76箇所計76回実施した
		環境パトロール活動を5箇所計60回実施した
		ポイ捨て、不法投棄禁止看板等を28箇所に設置した
	大和高田市	リサイクル活動の支援を1回実施した
		広報誌等による啓発、関連情報の提供を9回
		ポイ捨て、不法投棄禁止看板等を70箇所に計200枚設置した
	広陵町	リサイクル活動の支援を2回、108箇所計実施した
		広報誌等による啓発、関連情報の提供を2回
		散在ゴミの回収などの清掃・美化活動を84箇所計84回実施し2500人が参加して14トンを回収した
ポイ捨て、不法投棄禁止看板等を10箇所に計25枚設置した		

支川地域	市町村名	ごみ対策・清掃活動に関する取り組み
葛下川地域	葛城市	職員会117人による清掃活動や約1万人が参加して市内一斉清掃を実施した
	香芝市	河川や水路の堆積土砂の浚渫活動を2回実施し、15箇所では150トン回収した
	上牧町	散在ゴミの回収などの清掃・美化活動を24箇所計24回実施し360人が参加した
		環境パトロール活動を12箇所計12回実施した ポイ捨て、不法投棄禁止看板等を2箇所に計2枚設置した
	王寺町	広報誌等による啓発、関連情報の提供を3回 水と緑の街づくり町民運動「クリーンキャンペーン」を8月30日に開催し、王寺町内の大和川・葛下川でいっせいに清掃美化活動を実施した。4300人が参加して34トン回収した 7月8日の「大和川クリーンデー」へ参加し王子町内の大和川河川敷で清掃活動をし、約400人が参加した
その他支川地域	三郷町	広報誌等による啓発、関連情報の提供を1回 散在ゴミの回収などの清掃・美化活動を2箇所計2回実施し、410人が参加して1トン回収
		広報誌等による啓発、関連情報の提供を4回 6月25日に「いかるがの里クリーンキャンペーン」を開催し、散在ゴミの回収などの清掃・美化活動を7箇所で行い、770人が参加して0.55トン回収した 9月に113自治体が参加した「自治会内美化キャンペーン」や、4月～7月に自治会等で河川や水路の堆積土砂の浚渫活動を計151箇所実施し、166.02トンの土砂を回収した 環境パトロール活動を町内で週1回、計52回実施した ポイ捨て、不法投棄禁止看板を50枚（斑鳩小・斑鳩西小・斑鳩東小）製作し、2月8日竜田川沿い、2月2日富雄川沿いなど計3箇所に設置した 河川愛護啓発に係るパネル展等を1回実施した
	河合町	広報誌等による啓発、関連情報の提供を4回 「クリーンデー開催」や「小学生（高学年）による河川敷清掃活動」による散在ゴミの回収など清掃・美化活動を実施し、4312人が参加して17トン回収した

【流域市町村の取り組み】④事業所排水に関する取り組み

支川地域	市町村名	事業所排水に関する取り組み
佐保川・富雄川地域	奈良市	事業所排水の水質調査(自治体等)を60箇所計64回実施した
		河川・水路等の水質調査を28箇所計194回実施した
		事業所訪問、啓発、指導を60箇所計60回実施した
初瀬川・布留川地域	天理市	事業所排水の水質調査(自治体等)を164箇所計1回実施した
		事業所訪問、啓発、指導を3箇所計3回実施した
寺川地域	桜井市	事業所排水の自主検査を20箇所計61回実施した
		事業所排水の水質調査(自治体等)を5箇所計10回実施した
		河川・水路等の水質調査を10箇所計20回実施した
飛鳥川地域	橿原市	事業所排水の自主検査を7箇所計63回実施した
		事業所排水の水質調査を12箇所計30回実施した（零細染色工場3ヶ所や公害防止協定を締結している工場）
		河川・水路等の水質調査を奇数月2ヵ月毎に15箇所計6回実施した 事業所訪問、啓発、指導を12箇所計1回実施した
曾我川地域	御所市	事業所訪問、啓発、指導を3箇所計3回実施した
	大和高田市	事業所排水の水質調査(自治体等)を2箇所計1回実施した
		河川・水路等の水質調査を1回実施した
葛下川地域	香芝市	河川・水路等の水質調査を9月28、2月27日に市内5河川7箇所実施した
	王寺町	事業所排水の自主検査を5箇所計5回実施した
		事業所排水の水質調査(自治体等)を6箇所計6回実施した 事業所訪問、啓発、指導を6箇所計6回実施した
その他支川地域	斑鳩町	河川・水路等の水質調査を7箇所計84回実施した

「川をきれいにし隊」の取組について

1. 趣旨

河川維持管理指針を平成20年4月1日から施行するにあたり、河川管理者自らが定期的に現状を把握し、今後の維持管理を円滑に行うため、河川清掃を主とする「川をきれいにし隊」を各土木事務所で編成する。

2. 概要

1. 構成

構成員については各土木事務所8名程度と河川課1名の職員が参加し作業を実施する。

2. 実施内容

各土木事務所において月ごとに河川を選定し、重点的な巡視・点検及び清掃などを実施する。

3. 実施時期・時間

国土交通省が定める川の日(7月7日)にちなみ、毎月7日(土日祝日を除く)に半日程度を基本として一斉に実施する。各土木事務所の都合で7日に実施できない場合については、別の日に変更する場合もある。

3. 実施状況

奈良土木事務所：4/28岩井川 5/18佐保川 7/21佐保川 11/23佐保川 12/17岩井川

郡山土木事務所：4/22富雄川 5/21富雄川 6/10岡崎川 7/21竜田川 8/7秋篠川
9/9菩提仙川 10/7富雄川 12/17竜田川 1/7東生駒川

高田土木事務所：4/18葛城川 5/8曾我川 6/6葛城川 7/21高田川 8/7葛城川
9/5高田川 10/7高田川 1/7葛城川

桜井土木事務所：5/28曾我川 6/9大和川 7/27高取川 8/7高取川 9/8大和川
10/7戒外川 11/7飛鳥川 12/12曾我川 1/7大和川

宇陀土木事務所：4/11芳野川 5/21宇陀川 6/3麻生田川 7/21高見川 8/6池谷川
9/17室生川 10/15宇陀川 11/20宇陀川 12/17芳野川 1/21宇陀川

吉野土木事務所：4/24丹生川 5/7吉野川 6/11吉野川 7/21吉野川 8/6吉野川
9/9吉野川 10/10熊野川 11/13吉野川 12/9吉野川

五條土木事務所：4/17吉野川 5/7西川 6/9北川 7/21吉野川 8/7丹生川
9/8宇智川 10/7吉野川 12/9内川 1/7東浄川



その他の取組

・河川愛護団体への支援(地域が育む川づくり事業・河川美化愛護団体支援事業)

・「奈良県山の日・川の日(7月第3月曜日)」にかかるイベント等

・大和川一斉清掃(3月第1日曜日)

平成21年は、3月1日(日)に実施しますので参加をお願いします

清流

大和川の挑戦

「日本一汚い川」からの脱却

復活へ

県内を流れる一級河川、大和川。大和の名前通り県を代表する川だが、水質調査では国が管理する全国百六十六河川で平成十九年まで三年連続ワーストワンとなっている。かつては人々が泳いだり、さまざまな魚が生息して県民の憩いの川であった大和川。豊かな歴史文化を持つ日本のあるごとに清流を取り戻すことが、県民のこれからの課題ともいえるだろう。そこで、大和川の水質改善について連載をスタートする。

第一回は、大和川の現状と、県が中心となって昨年十一月設立した「大和川清流復活ネットワーク」について。同ネットワークは、来年の平成遷都三〇〇年祭に向けて大幅な水質の改善を図る計画だ。

NPOや企業が協働

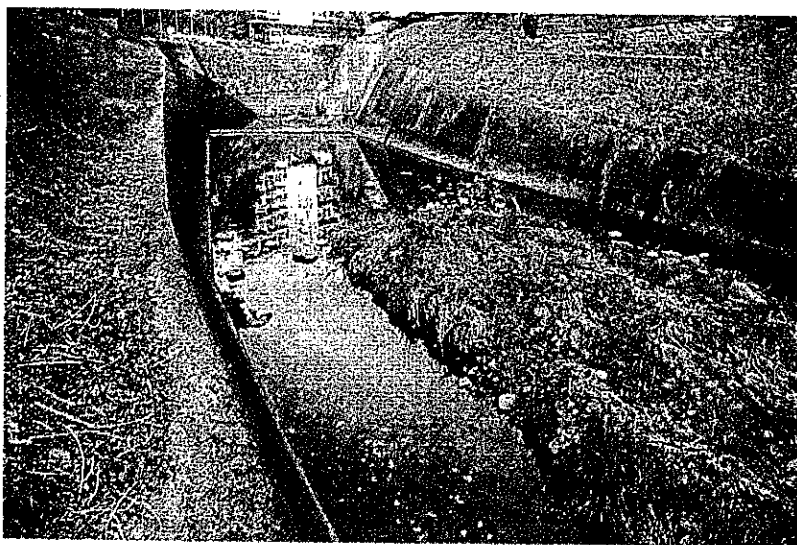
大和川は、高度成長期に水質の悪化が進み、昭和五十三年には汚れの度合いを示す生物化学的酸素要求量(BOD)が一桁当たり19.7リットルとなっていた。流域の下水道の普及、水質改善の取り組みにより平成十九年は4.7リットルにまで改善されたがワーストからは脱却できていない。

平成二十年調査では3.7リットルにまで改善され、全国ワ

の汚さは歴然としている。仙台市を流れる広瀬川はBOD 0.8リットル。京都市の鴨川(上流)は0.7リットル。世界的にみても、セーヌ川は2.7リットル、韓国の漢江(はんが)は3.4リットルとなっている。

なぜ、大和川は汚いのか。県によると、流域は山地も少なく降水量も少ないので水量も少なく汚れやすい。流域に県人口の90%が集中し、家庭からの生活排水が汚濁原因の多くを占める。単独浄化槽やくみ取り家庭から未処理で流される生活排水が川を汚すなどが挙げられるという。

大和川清流復活ネットワーク



大和川の支川の中で水質が悪い菩提川

全国二千五百五十一河川のワースト三位という。これまでの反省を踏まえ、水質改善の取り組みが一部「支川」ことによりきめ細かなに集中していただいてもいえる数対応を「行政だけでなく

NPO、住民団体や企業を含めた取り組みを」と十一月に設立されたのが「大和川清流ネットワーク」だ。国、県、流域二十三日町村などで第一回会議を昨年十一月に開き、第二回をきょう二十九日に開催する。

支川ごとの汚濁の状況の徹底的な分析と水質改善計画、県民への情報発信、合流式下水道の改善、NPO、住民団体、企業との協働などを方針としている。ネットワークの活動は全国のみならず、世界の注目が集まっているという。でも過言ではないだろう。

※ ※ ※

二月は「水質改善強化月間」にあたり、流域二十三日町村一斉啓発キャンペーンを実施する。県河川課は生活排水対策啓発のアクリルタワシ作製講座を二月二十三日に生駒市のコミュニティセンターで開く。参加無料(要申し込み)。詳しくは回線電0745(27)7507。

毎月一回、下旬に掲載

地域の団体、NPO等からの活動等の報告、議事録

NPO 日本下水文化研究会 木村氏

組織は全国組織。関西支部長をしている。関西全域を管轄している。活動の紹介として、堺市の石津川では、市民活動が盛ん。下水道は90%以上完成しているが、きれいにならない。過去から、NPOで水質調査を行っている。BODが10、CODが16くらい。いっこうにきれいにならない。下水道が普及してもきれいにならない。何故か？

誰かがこそっと流している？ ゴルフ場からの肥料が流れ出ている？ 街が汚いと、雨が降ると川へ流れ出てしまう。アユの戻ってくる川にしたい。目標は大和川。大和川にはアユが遡上してきている。今後の活動の参考になればと思い、発言させていただいた。

大和信用金庫 新氏

大和川の水質が良くなると金利を上乗せするという「大和川定期預金」を取扱っている。平成20年は水質が良くなり、0.5%上乗せができた。80億円の預入があり、上乗せ金利分4000万円が負担となったが、ワースト5を脱却できるまでは続けていきたい。

今後は水質だけでなく、ゴミの問題にも力を入れていきたいと考えている。当金庫の近くに大和川の支流である寺川が流れているが、ゴミが多い。去年は王寺町での大和川クリーンキャンペーンに約100名の職員が参加したが、一度に多くの職員が参加するよりも、支川ごとに分散して参加する方が効果的であることから、今後は、各市町村で実施する清掃活動にも全面的に協力していきたい。

エコ・フォーラム21 河波氏

地球環境母親会議を週に1回開き、話し合いや勉強会をしている。主に生活排水やエコに関する取組み etc. パネルシアターを通して啓蒙している。特に、保育園・小学校・PTA・婦人会などでのパネルシアター活動が中心。大和川の清流に向けての実験や、家族ぐるみで河川のゴミ拾い、清掃活動を実験している。

ファミリーでボランティアをする大切さを伝えたい。とにかく楽しく取り組むことをモットーにしている。

秋篠川源流を愛し育てる会 芦田氏

10年前、市制100周年記念事業として、秋篠川堤防に桜を植え、桜を通して川に関心を持ってもらおうと考えました。約150本を植樹。名札をつけて、里親になってもらい、道路・道端・側溝にゴミがあると、これが川に流れていくので、これを拾っていかないとします。

五井町自治会 吉村氏

高取川約 14000 m²を草刈り、清掃、桜の木消毒を35年間年3回行っている。
この行事に地域住民が積極的に参加し環境保全を行っているが、年間費用として年間約40万円を自治会が出費している。
県河川課にて3年前、「地域が育む川づくり」制度に当自治会も加入した結果、年間約12万円の補助を受けているが、もう少し県側も補助の改訂を早急に検討して頂きたい。以上報告させていただきます。

安堵町桜遊会（岡崎川に桜を育てる会） 胡内氏

住民の憩い、ふれあいの場所づくりを。安堵町に桜並木を目指し、昨年の3月に90本の苗木を植えた。里親制度を設けた。秋篠川を参考に。毎月、草刈り、清掃に50名前後が出てきてくれる。桜を植える前は、左岸は舗装されているが、右岸は草がぼうぼうで足を踏み入れることもできなかった。今はきれいな堤防になってきている。川底のヘドロを郡山土木事務所に協力していただいて、取り除いてもらった。住民の意識も変わってきている。きれいになってくれば、住民の皆さんの意識も変わってきている。

清掃の際に拾ったゴミは自分で持って帰っている。刈り取った草は、そのままにしている。清掃後のゴミの処理はどのようにすればいいのか、県や市町村での対策はどのようにになっているのか。いい智恵があれば教えていただきたい。

NPO 日本下水文化研究会 木村氏

大阪では、いろいろと問題になっている事例があるようだ。河川から出たゴミは、河川管理者の責任で、市町村が受けとってくれない。河川管理者はゴミ処理ができない。という問題だ。まず、市役所で、ゴミ処理ができるかどうか、活動前にまず確認することが大切。

秋篠川源流を愛し育てる会 芦田氏

このような問題に対して、奈良市は理解があり、月に1回、第3土曜日に活動しています。月曜日には、必ずゴミを取りに来てくれます。

安堵町桜遊会（岡崎川に桜を育てる会） 胡内氏

安堵町では、以前に単車が川底にあり、自宅へ持ち帰ることもできず、困った。

事務局

このネットワークには、行政、NPOが入っている。この中で連携を進めていけば。

橿原市田中町水土里の会

田中町は、明日香村と橿原市の境界。飛鳥川沿い。観光客がサイクリングで通ることが多い。きれいにして協力している。地元の中学校でホタルの飼育をしている。飛鳥川でホタルを飛ばす試みを実施。

清掃のあとのゴミの処理は、市の環境事業部に協力してもらっている。

昨年、社会実験に協力参加。夜9時頃に生活排水のピークを実感。

NPO法人 大和循環型社会創造機構 吉村氏

ダイヤモンドシティの近くに住んでいて、学生時代から、近所の溝掃除に参加。今、水が流れていない。吉野川分水の時期と、雨が降ったあとのみ水が流れている。川の水量が少なかったら、BOD、CODを下げる意味は？ 山の保水量などの議論をしていかなないと。情報共有が必要。水量とバランスのデータ検証が必要ではないか。

日誠建設株式会社 前島氏

会社近くの布留川で、草刈りを実施した。今後、年2回草刈りを予定している。草刈りをすることによって、ゴミが減って、きれいになっていくことを期待している。

その他

事務局

ネットワーク登録票での登録のお願い。

大和川市民ネットワークに情報発信の基点となっただけでないか。

大和信用金庫 新氏

メーリングリストでの情報発信ということであれば、協力していきたい。情報共有、協働につながれば。

エコ・フォーラム21 河波氏

質問を

1. 浄化センター周辺を、350人くらいで清掃した。軽トラック5台分のゴミが出て、最終的には河川事務所で処理していただいたが、処理までに3日程度かかった。どこかにいえば、処理してもらえるとということにはならないだろうか。
2. 社会実験の参加率が19%と低いのが、何故か？ 分析、対策はいかがか？
3. 秋くらいに対策をとった話であったが、もっとスピードアップしていくことはできないか？ 情報を出せば、対応してもらえるのか？
4. 3月1日には、できるだけ奈良から参加したいが、ポスター・チラシは用意していただいているのか？

事務局

ネットワーク登録票での登録のお願い。

1. どこかにいえば、スムーズに解決していく体制をつくりあげていきたい。今のところ、とりあえず河川課へ言っていただいたら、土木事務所、市町村を連絡をする。。
2. 参加率は19%であるが、第1回目からは右肩上がりに参加者は増えている。それなりの認知がある。アンケート調査では、モデル地区、市職員からのポスティング、自治会回覧での認知率が高い。学校からのビラ配付も行っていく。
3. ご相談いただければ、随時進めていきたい。
4. 3月1日の取り組みについては、国土交通省、大阪府と協力して進めていく。広報についてはまだ十分にできていない。河川課HPで紹介をしていく予定。